

第11回

ECOTOURISM AWARD 2015

エコツアーリズム大賞

地球と人に優しい旅を！
日本のエコツアーリズムの担い手たち



エコツアーリズム大賞概要 ————— 1

■ 審査委員長講評

「第11回エコツアーリズム大賞」の選考を終えて — 1

大賞受賞者の紹介 ————— 3

優秀賞受賞者の紹介 ————— 4

特別賞受賞者の紹介 ————— 5

特別継続賞受賞者の紹介 ————— 7

応募状況 ————— 8

主催 環境省



NPO 法人日本エコツアーリズム協会



エコツーリズム大賞の概要

エコツーリズム大賞とは

エコツーリズム大賞は、エコツーリズムに取り組む事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、広く紹介するもので、全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上および情報交換等による関係者の連帯感の醸成を図ることを目的とし、平成17年から行われています。

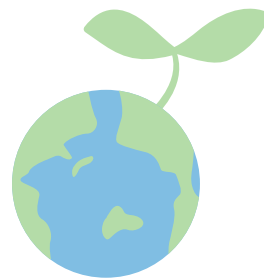
応募対象

エコツーリズムに継続的に取り組んでいる事業者、団体、自治体などを対象とします。

(例：ツアー事業者、宿泊事業者、交通事業者、コンサルタント、協議会、教育機関、学生団体、地方公共団体など)

過去の大賞受賞団体

- 第1回 ピッキオ（長野県）
- 第2回 ホールアース自然学校（静岡県）
- 第3回 認定特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト（北海道）
- 第4回 飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会（埼玉県）
- 第5回 海島遊民くらぶ（有限会社オズ）（三重県）
- 第6回 特定非営利活動法人 黒潮実感センター（高知県）
- 第7回 特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ（長野県）
- 第8回 紀南ツアーデザインセンター（三重県）
- 第9回 針江生水の郷委員会（滋賀県）
- 第10回 小岩井農牧株式会社（岩手県）



審査委員長 講評

「第11回エコツーリズム大賞」の選考を終えて

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 下村彰男（審査委員長）



今回の第11回エコツーリズム大賞より幾つかの点が変更されました。最も大きな変更は、新たに「特別継続賞」が設けられた点です。本賞自身10年を経過しましたし、2008年にエコツーリズム推進法が施行されてからも7年が経過しました。各地でエコツアーが実施されるようになり、協議会等を組織して計画的に取り組む地域も増えてきました。エコツーリズムも、「継続」の段階に入ってきたと考えられます。継続には、初動期とは異なる課題が生じてきますし、取組みの進め方や仕組みについても新たな側面の検討が必要となります。そうした状況を受けて、受賞者が積極的な姿勢を失わずに継続して取り組んでいるケースも表彰すべきということで新設されたものです。その他、組織的な動きを見せる公的な団体からの応募が目立つようになり、個人事業者からの応募が減る傾向にありましたので、応募を「個人部門」と「団体部門」に分ける等、個人事業者やNPO等の方々も応募しやすい工夫が加えられています。

結果的には、応募総数は54件と例年並みでしたが、個人事業者として頑張っておられる方々からの応募は増えたように思います。そして選考の結果、大賞1件、優秀賞2件、特別

賞6件、そして特別継続賞1件が選ばれました。

今回「大賞」を受賞された「富士登山学校ごうりき」は、富士登山に焦点をあて、少人数ツアーにこだわりながら、山頂を目指す登山だけではなく、周辺地の自然や文化をも含めて、富士山をより深く理解できるプログラムを継続的に展開されています。「民」の立場にある事業者ですが、地域の公的組織や研究機関、企業とも関わりながら、環境の保全や持続的管理、また富士地域への多様な人々の誘致や受け入れ体制の形成など総合的に関わってこられている点が評価されました。また新設の特別継続賞に関しては、第5回大賞を受賞された「海島遊民くらぶ」が受賞されました。大賞受賞後も、地域を巻き込みながら積極的に活動を続けておられ、2014年に地元鳥羽市が全体構想を認定された際にも貢献をされました。

他の受賞者も、各々の地域の自然や社会環境に応じて、総合的あるいはユニークな活動を展開しておられ、エコツーリズムの浸透と広がりを実感いたしました。受賞者はもちろんのこと、応募された方々につきましても、これを契機に活動がさらに充実し、住民そして来訪者の双方にとって魅力的な地域づくりへと発展することを期待しています。

第11回エコツーリズム大賞の経緯

募集期間 平成27年9月25日～11月27日

応募総数 54件

表彰式 平成28年3月10日

受賞者一覧

大賞

富士山登山学校ごうりき(株式会社 合力)(山梨県)
富士山エコツーリズムの構築を目指して

優秀賞

湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部(滋賀県)

びわ湖里山の自然を大切に
環境保全につとめます

一般社団法人

座間味村ホエールウォッチング協会(沖縄県)

クジラにやさしいホエールウォッチング

特別 継続賞

海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)

素敵な自分を発見する旅! 地域とのつながり

特別賞

上市町(富山県)

町の宝を後世につなぎ渡そう みんなで築く新しい『上市まちのわ』

おんたけアドベンチャー(長野県)

ゆるゆら、自然と親しむツアー

くまの体験企画(三重県)

熊野古道伊勢路を「面」として捉えたエコツアー

宮津世屋エコツーリズムガイドの会(京都府)

あなたはきっと里山に染まります

愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会(愛媛県)

縁(えにし)わく石鎚

エコツアーふくみみ(沖縄県)

自然って、つながってるんだね。

審査委員

審査委員長

- 下村 彰男 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
- 越智 良典 (一社)日本旅行業協会 理事・事務局長
- 海津 ゆりえ 文教大学国際学部 教授
- 菅野 正洋 (公財)日本交通公社 観光文化研究部 主任研究員
- 楠部 真也 (株)ピッキオ 取締役
- 桜井 義維英 NPO 法人 国際自然大学校 理事
- 佐藤 博康 松本大学 名誉教授
- 高梨 洋一郎 サイバー大学 客員教授
- 西山 徳明 北海道大学観光学高等研究センター センター長
- 山田 桂一郎 JTIC.SWISS 代表





富士山登山学校ごうりき (株式会社 合力)

山梨県富士吉田市

富士山エコツーリズムの構築を目指して

講評

世界文化遺産に登録された富士山において、従来の観光型富士登山から滞在型観光への仕組みづくりを実施。富士山頂を目指す登山だけではなく、麓から五合目までのツアーなどを行い、富士山や周辺地域に関する文化をより深く理解できるようなプログラムにも取り組んでいる。

ツアーは、通年、少人数で行われ、一人ひとりを丁寧にケアしながら実施。また、環境問題やマナー啓発にも力を注いでおり、吉田口登山道や吉田口、河口湖周辺における清掃活動の実施や、ツアー中に環境保全に関する現状や取り組みの解説をすることによりツアー客の環境に対する意識が向上するような取り組みをしている。

富士山来訪者の誘致や受入れ体制などについて、地元の行政や商工会議所などと連携して取り組んでいる点なども評価された。



応募の概要



2002年に設立。第2回エコツーリズム大賞(平成18年度)では特別賞、第5回(平成21年度)では優秀賞を受賞。富士山全域で、オールシーズン・少人数制にこだわったエコツアーを開催している。マスツアーが主流であった富士登山において、先駆的・持続的にエコツアーを開発・実施。安全管理やきめ細かなガイドランス、配慮が行き届いた専門性の高いツアー体制を継続し取り組んでいる。地域活性化の面においても、街中にある神社や吉田口登山道を活用し、夏季登山時期以外の観光客の集客を向上させ富士山地域の活性化に繋げている。

受賞の言葉

富士山の全域において13年活動を継続できましたのも、地元の方々、ガイド仲間、富士登山を中心としたエコツアーにご参加頂いたゲスト、行政、応援して下さいる企業など多くの関係者の皆様のお陰と考えます。感謝申し上げます。

私たちが活動する富士山は、山梨・静岡の両県に跨る広大なエリアです。日本人が古くから愛し、崇めた富士山は、青木ヶ原樹海をはじめとする日本有数の自然環境を有しています。豊かな森や、清らかで美しい湖、絶え間なく湧き出る湧水の中で、希少な植物や多くの動物が生息しています。そして「富士講」をはじめとする豊かな歴史文化も、富士山の力を求め頂上を目指した日本人の姿や魂もある場所です。

「富士山は、祖先から譲り受けたものではない。未来の子どもたちからの大切な借り物。今よりもっとよい状態で返していきたい…」の理念のもと、活動しています。

私たちは、マスツアーのみであった富士登山において、先駆者として少人数制にこだわり、安心、安全、快適なエコツアーを開発・継続してきました。今後も更なる安全管理やきめ細かなガイドランス、配慮が行き届いた専門性の高いツアー体制を継続していくよう努力を重ねて参りたいと考えます。

今後も産官学民の連携をより深め、皆様と合力しながら、「創めたら辞めない」を心に、富士登山のように焦らず、ゆっくりと確実に歩みを進めていきたいと思っています。今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。(代表 近藤光一)





組織の沿革
 代表者名：近藤 光一
 設立：2002年
 所属人数：2名

連絡先
 〒 403-0012 山梨県富士吉田市旭 4-1-7
 Tel:0555-24-1032
 e-mail : info@fujitozan.jp
 Web : http://www.fujitozan.jp

応募部門：エコツアー事業者等（個人）

湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部

びわ湖里山の自然を大切に 環境保全につとめます

滋賀県高島市

優秀賞

講評

応募の概要

暮らしそのものを観光資源とし環境保全活動と地域活性化を両輪に活動。景観保持・危険防止のため、古道や登山道の整備を16年以上実施。地域の協力も得て古道を観光コースへと整備。また、2007年から竹林整備を開始。竹林再生整備体験をエコツアープログラム化した新竹取物語は、多くの世代が参加している。宿泊施設や観光協会などと連携した教育旅行や企業研修の受け入れや、地元住民が地域の自然への理解を深め、地域への愛着や誇りを持つことに寄与している点が評価された。

第8回エコツーリズム大賞（平成24年度）では特別賞を受賞。湖西地域全体を「びわ湖淡水文化博物館」とみなし、歴史・自然・生活文化・観光施設を紹介するウォーキングイベントを開催。竹林再生整備体験をエコツアープログラム化するなど、継続して地域の魅力を伝えている。



組織の沿革
 代表者名：阿部 和子
 設立：1999年
 所属人数：30名

連絡先
 〒 520-1221
 滋賀県高島市安曇川町青柳 992-2
 Tel:0740-32-0206
 e-mail: qsms10680@maia.eonet.ne.jp
 Web: http://koseiyumehurusato.web.fc2.com/

応募部門：その他（個人）

優秀賞

講評

応募の概要

一般社団法人 座間味村ホエールウォッチング協会 クジラにやさしいホエールウォッチング

沖縄県
島尻郡座間味村



行政を始め地域と連携しながらホエールウォッチングツアーを実施。閑散期であった冬季の観光客の増加に大きく貢献。また、座間味村周辺海域においてホエールウォッチングを行う際に、大切な自然資源である鯨類の行動を妨げないこと、ザトウクジラの繁殖海域を保護することを柱として、ホエールウォッチング時の自主ルールを制定し、ザトウクジラの保全を心掛けながらツアーを実施している。ザトウクジラの保護と地域振興への寄与が評価された。

1991年の設立当初からホエールウォッチング時の自主ルールを制定しツアーを行う。座間味村海域におけるザトウクジラの保護とホエールウォッチングの振興を図ると共に、協会会員相互の連絡と協調を図りながら、座間味村の観光発展に寄与することを目的とし、継続的な活動を行っている。

連絡先

〒901-3402
沖縄県島尻郡座間味村字座間味地先1
Tel:098-896-4141
e-mail:whale@vill.zamami.okinawa.jp
Web:http://www.vill.zamami.okinawa.jp/whale/

組織の沿革

代表者名：中村 毅
設立：1991年
所属人数：37名

応募部門：地域団体（団体）



上市町

町の宝を後世につなぎ渡そう みんなで築く新しい『上市まちのわ』

富山県中新川郡
上市町

特別賞

講評

地域住民や県外からの観光客が参加できるイベント等の開催やツアーの実施などにより、受け入れ態勢や販売方法の拡充を図っている。最近では、インバウンドを意識した「稲刈り選手権」などを実施。また、上市町内の自然や歴史などを地元住民に伝える「かみいち時間」などを通じ地域住民へのエコツーリズムの普及・啓発を実施している点が評価された。



応募の概要

役場職員のエコツーリズム推進員を中心に行政主導でエコツーリズム推進の取組みを始め、地域にすでにある価値の再発見とモデルプログラムづくりを積極的に進めてきた。2014年、幅広い顔ぶれが集い「上市まちのわ推進協議会」を設立。「自然観光資源利用活性化部会」「自然環境保全推進部会」「エコツーリズム普及啓発部会」の3つの部会をエコツーリズム推進母体として活動している。

連絡先

〒930-0393 富山県中新川郡上市町法音寺1番地
Tel: 076-472-1111
e-mail: info@town.kamiichi.toyama.jp
Web: http://www1.town.kamiichi.toyama.jp/

組織の沿革

代表者名：上市町長
伊東尚志

応募部門：自治体（団体）



特別賞

おんたけアドベンチャー

ゆるゆら、自然と親しむツアー

長野県
木曾郡王滝村

組織の沿革

代表者名：二宮 隆博
設立：2005年
所属人数：2名

講評



連絡先

〒397-0201 長野県木曾郡王滝村 3577-1
Tel: 0264-48-1208
e-mail: info@ontake-adv.com
Web: http://www.ontake-adv.com

応募部門：エコツアー事業者等（個人）

応募の概要

1984年に自然湖が形成された御嶽山山体崩壊と、2014年御嶽山噴火での自然活動をどのように伝えていくかなど、災害という言葉だけではなく、自然の動きを感じるツアーを実施。御嶽山周辺を災害場所ではなく、かけがえのない財産としてツアー参加者に感じてもらうようガイドを実施。楽しさと自然の動きを感じ取るカヌーツアーを通して、自然湖の村内外への認知度を高め、その貴重な自然環境を守り、保全を続けていることが評価された。

1984年の長野西部地震時に形成された自然湖で活動を行う。地震から20年間放置されゴミが散乱していた自然湖を、カヌーツアーを行うことにより村内外への認知度を高め、貴重な自然環境を守り保全活動を続けている。自然が再生復活をしていく様子を感じ取りつつ、森林浴を楽しめるツアーを行っている。

特別賞

くまの体験企画

熊野古道伊勢路を「面」として捉えたエコツアー

三重県尾鷲市

組織の沿革

代表者名：内山 裕紀子
設立：2008年
所属人数：16名

講評

熊野古道エリアにおいて、世界遺産登録や文化財指定されていない文化資産の荒廃を防ごうと、住民や地域グループと共同で、文化資産の見直しや道普請などを活用するイベント型エコツアーを開催。熊野古道伊勢路を「面」として捉え、東紀州各地の生活古道、集落跡、森林、城跡、産業遺産など様々な場所で、来訪者と住民との接点や地元への経済効果を考慮したツアーを実施。また、ボランティアではなく職業とする若いガイドが育ち、着地型エコツアーが持続し定着するよう、行政予算や補助金には頼らず、民間企業として、コミュニティ・ビジネスを展開していることが評価された。



連絡先

〒519-3612 三重県尾鷲市林町 9-28
Tel: 090-7865-0771
e-mail: mie@kumanokodo.info
Web: http://kumanokodo.info/

応募部門：エコツアー事業者等（個人）

応募の概要

熊野古道伊勢路の地域課題解決を目的として、エコツーリズムを推進するコミュニティ・ビジネスとして事業を行う。地域資源の発掘保全ツアーなどを催行。熊野古道と町なかを繋ぐツアーを定着させ、商店、ギャラリー、休憩処などをコースに入れ、ツアー客と地域住民との接点を増やしている。

特別賞

宮津世屋エコツーリズムガイドの会

あなたはきっと里山に染まります

京都府宮津市

組織の沿革

代表者名：安田 潤
設立：2010年
所属人数：7名

講評

貴重な里山環境の維持を重点に活動しており、地域の除草やコース観察道整備などの実施やガイド料の一部を地域振興のために地元に戻元している。従来型の周遊型ツアー形態から、地域の森里川海のつながりを来訪者が体感できるツアーを実施。

里地里山の環境や人々の暮らしを守るため、エコツーリズムの新しい担い手の育成や教育機関、地域との連携が評価された。

宮津市エコツーリズム推進協議会の活動を引き継ぎ、古民家を拠点に里山を活動場所としてエコツアーを開催。地域を「里山文化ゾーン」ととらえ、その価値をパンフレットやWEBを通じて発信。教育機関とも連携し、小学校の総合学習に利用されている。



連絡先

〒626-0227 京都府宮津市字上世屋 432
Tel: 0772-68-0367
e-mail: px8fn4@bma.biglobe.ne.jp
Web: http://www.geocities.jp/miyazu_etg/

応募部門：地域団体（団体）

応募の概要

特別賞

講評

応募の概要

愛媛県石鎚山系エコツーリズム推進協議会

えにし 縁わく石鎚

愛媛県松山市

組織の沿革

代表者名：片岡 正雄
設立：2013年
所属：33団体

多くの登山者が訪れる石鎚山は、豊かな自然環境と生物多様性の宝庫であるとともに、長い歴史を持つ山岳信仰の地としての伝統・文化がある。これらの強みを活かしてエコツアーのフィールドとして活用して行くにあたり、ガイド養成講習会やツアー商品の造成支援・広報活動・情報発信など構成団体の活動を繋ぎ石鎚山系のエコツーリズム推進の基盤作りに取り組んでいる点が評価された。

西日本最高峰「石鎚山」を中心とする石鎚国定公園を活動場所としている。エリアが2市町にわたることから、地元行政、エコツアー事業者、山岳関係者が集う場所として協議会を組織し、エコツアー造成、プロモーションなどを一体的に進めている。ガイド不足を解消するため人材育成も行っている。



連絡先

〒790-8570 愛媛県松山市一番町4丁目4-2
Tel: 089-912-2366
e-mail: shizenhogo@pref.ehime.jp
Web: <http://ishizuchi-ecotourism.com/>

応募部門：協議会（団体）

特別賞

講評

応募の概要

エコツアーふくみみ

自然って、つながってるんだね。

沖縄県石垣市

組織の沿革

代表者名：大堀 健司
設立：2001年
所属人数：2名

小学校と連携したサンゴ礁保全教育では現地学習の他、事前学習や事後学習を行い問題意識の共有を図り、問題解決に向けての行動まで一連の学習として実施。中学校と連携して行う外来生物の学習では、外来生物の基礎地域を養い、外来生物問題の深刻さと生物としての命を考える活動を行う。また、地元の小学校を対象に、ウミシヨウブの継続的な観察や海岸漂着ゴミなどの学習をボランティアで提供している。地元の学校や子どもを対象とした自然体験活動が評価された。



少人数制の自然体験プログラムを開発。幼児を連れた家族連れも安心して参加できるメニューを提供している。また、地元の学校と連携したサンゴ礁保全教育、中学生を対象とした外来生物の学習や地域の人たちと協力し自然再生プログラムなどにも取り組んでいる。

連絡先

〒907-0333 沖縄県石垣市野底1086-3
Tel: 0980-89-2555
e-mail: fukumimi@wonder.biglobe.ne.jp
Web: <http://www5b.biglobe.ne.jp/~yujimaru/>

応募部門：エコツアー事業者等（個人）

特別
継続賞

講評

応募の概要

海島遊民くらぶ（有限会社オズ）

素敵な自分を発見する旅！ 地域とのつながり

三重県鳥羽市

組織の沿革

代表者名：江崎貴久
設立：2001年
所属人数：5名

平成21年度第5回エコツーリズム大賞受賞後、地元の行政や学校、地域住民との連携が一層強化され、地域の政策立案などに参画するなど、地域と強い信頼関係で結ばれている。鳥羽市が漁業と観光の連携「漁観連携」を推進する中で、これを実現するため漁業者との連携をより強化するなど、エコツーリズム事業を通じ地域全体の観光や漁業と連携した継続的な取組により、地域振興に大きく寄与している点が評価された。



第5回エコツーリズム大賞（平成21年度）にて大賞受賞。

漁業者との連携した体験プログラムの強化などにより、鳥羽市が漁業と観光の連携を打ち出す「漁観連携」に大きな役割を果たしている。また、平成20年から開始してきた小学校と連携した島っ子ガイド育成事業は、地域の取組にまで発展。

継続的な取組による地域との信頼関係と情報力により、地域全体のエコツーリズムの質の向上に努めている。

連絡先

〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽1丁目4-53
Tel: 0599-28-0001
e-mail: kurage@oz-group.jp
Web: <http://oz-group.jp/>

応募部門：エコツアー事業者等（個人）

エコツーリズム大賞 過去の受賞団体

2005 (年度) 第1回	大賞	ピッキオ(長野県)
	優秀賞	小笠原ホエールウォッチング協会(東京都)
		株式会社 南信州観光公社(長野県)
		ホールアース自然学校(静岡県)
		やんばる自然塾(沖縄県)
	特別賞	特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト(北海道)
		財団法人 キープ協会(山梨県)
		紀南ツアーデザインセンター(三重県)
特定非営利活動法人 黒潮実感センター(高知県)		
有限会社 屋久島野外活動総合センター(鹿児島県)		
仲間川地区保全利用協定締結事業者(沖縄県)		
2006 第2回	大賞	ホールアース自然学校(静岡県)
	優秀賞	特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト(北海道)
		白神マタギ舎(青森県)
		特定非営利活動法人 黒潮実感センター(高知県)
		特定非営利活動法人 たてやま・海辺の鑑定団(千葉県)
	特別賞	加賀市観光協会・加賀市観光情報センター(石川県)
		富士山登山学校ごうりき(山梨県)
		特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ(長野県)
松本電気鉄道株式会社・濃飛乗合自動車株式会社(長野県・岐阜県)		
海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)		
2007 第3回	大賞	認定特定非営利活動法人 霧多布湿原トラスト(北海道)
	優秀賞	いしかわ自然学校(石川県)
		海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)
		させぼパール・シー 株式会社(長崎県)
		体験村・たのはた推進協議会(岩手県)
	特別賞	二戸市楽しく美しいまちづくり推進委員会(岩手県)
		裏磐梯エコツーリズム協会(福島県)
		有限会社 リポーン<エコツーリズム・ネットワーク>(東京都)
高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森(岐阜県)		
針江生水の郷委員会(滋賀県)		
2008 第4回	大賞	飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会(埼玉県)
	優秀賞	越後田舎体験推進協議会(新潟県)
		特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ(長野県)
		財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター(熊本県)
		秋田白神ガイド協会(秋田県)
	特別賞	稲取温泉観光合同会社(静岡県)
		マキノ里湖体験ツアー協議会(滋賀県)
		大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会(鳥取県)
秋吉台地域エコツーリズム協会(山口県)		
特定非営利活動法人 おちかアイランドツーリズム協会(長崎県)		

2009 第5回	大賞	海島遊民くらぶ(有限会社オズ)(三重県)
	優秀賞	富士山登山学校ごうりき(山梨県)
		紀南ツアーデザインセンター(三重県)
		特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館(高知県)
		知床オプショナルツアーズ SOT!(北海道)
	特別賞	ゆっくりずむ北海道(北海道)
		株式会社 JTB 関東(埼玉県)
		特定非営利活動法人 あそんで学ぶ環境と科学倶楽部(東京都)
有限会社 地域観光プロデュースセンター(滋賀県)		
エコガイドカフェ(エコツアーラボ合同会社)(沖縄県)		
2010 第6回	大賞	特定非営利活動法人 黒潮実感センター(高知県)
	優秀賞	有限会社 リポーン<エコツーリズム・ネットワーク>(東京都)
		宮津市エコツーリズム推進協議会(京都府)
		尾瀬認定ガイド協議会(群馬県)
		社団法人 若狭三方五湖観光協会(福井県)
	特別賞	特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金(長野県)
		特定非営利活動法人 五ヶ瀬自然学校(宮崎県)
		特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ(長野県)
てしかがえこまち推進協議会(北海道)		
2011 第7回	大賞	特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ(長野県)
	優秀賞	二戸市宝を生かした事業実行委員会(岩手県)
		針江生水の郷委員会(滋賀県)
		小岩井農牧 株式会社(岩手県)
		株式会社 エコロの森(富山県)
	特別賞	飛騨里山サイクリング(株式会社美ら地球)(岐阜県)
		特定非営利活動法人 桜島ミュージアム(鹿児島県)
		大賞
優秀賞		小岩井農牧 株式会社(岩手県)
	特定非営利活動法人 あそんで学ぶ環境と科学倶楽部(東京都)	
	高山市乗鞍山麓五色ヶ原の森(岐阜県)	
	日高地域活性化協議会(北海道)	
特別賞	谷川岳エコツーリズム推進協議会(群馬県)	
	特定非営利活動法人 赤目四十八滝溪谷保勝会(三重県)	
	湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部(滋賀県)	
	社団法人 西土佐環境・文化センター四万十舎(高知県)	
2012 第8回	大賞	針江生水の郷委員会(滋賀県)
	優秀賞	株式会社 知床ネイチャーオフィス(北海道)
		特定非営利活動法人 飛騨小坂200滝(岐阜県)
		特定非営利活動法人 桜島ミュージアム(鹿児島県)
		特定非営利活動法人 えがおつなげて(山梨県)
	特別賞	特定非営利活動法人 八ヶ岳スーパートレイルクラブ(長野県)
		鳥羽市エコツーリズム推進協議会(三重県)
		特定非営利活動法人 おおぎみまるごとツーリズム(沖縄県)
大賞		小岩井農牧株式会社(岩手県)
優秀賞	谷川岳エコツーリズム推進協議会(群馬県)	
	株式会社 エコロの森(富山県)	
	SATOYAMA EXPERIENCE(株式会社 美ら地球)(岐阜県)	
	特定非営利活動法人 土湯温泉観光まちづくり協議会(福島県)	
特別賞	特定非営利活動法人 越後妻有里山協働機構(新潟県)	
	有限会社 森の国(鳥取県)	
	一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会(広島県)	
	阿蘇ジオパーク推進協議会(熊本県)	

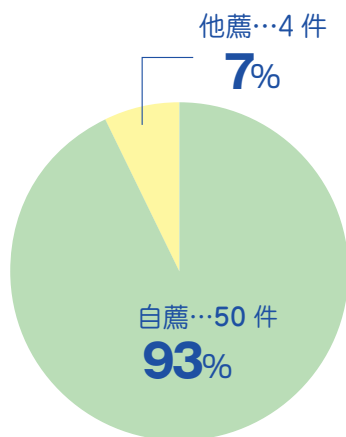


'15 ECOTOURISM AWARD

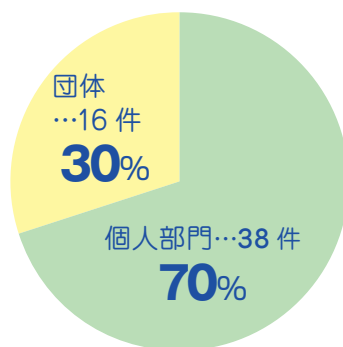
応募状況

第11回エコツーリズム大賞へ応募があった54件を、「応募主体」「応募部門」「地域特性」「主体類型」「設立年」ごとに集計。さらに「全国応募状況」として都道府県ごとにまとめた。

応募主体

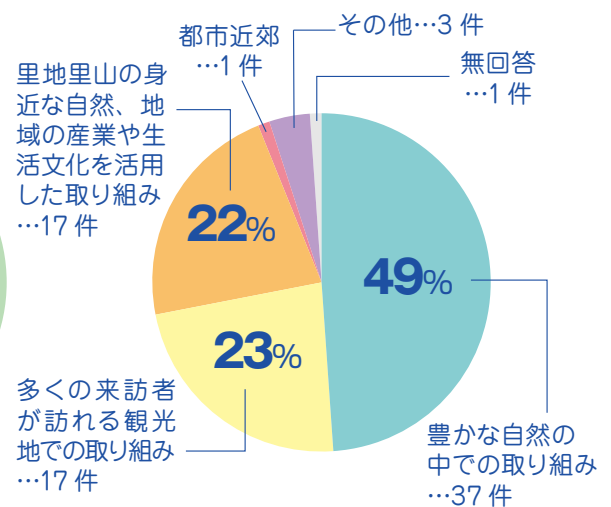


応募部門



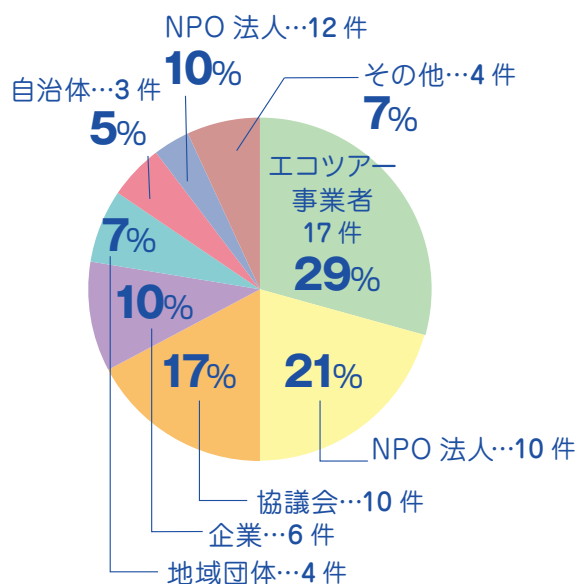
地域特性

※ 複数回答

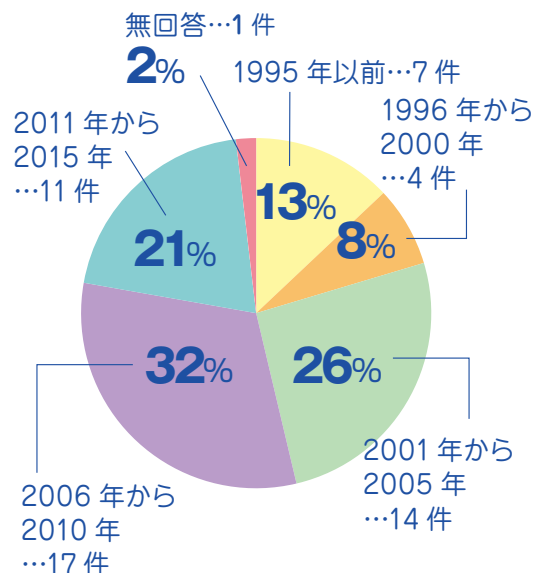


主体類型

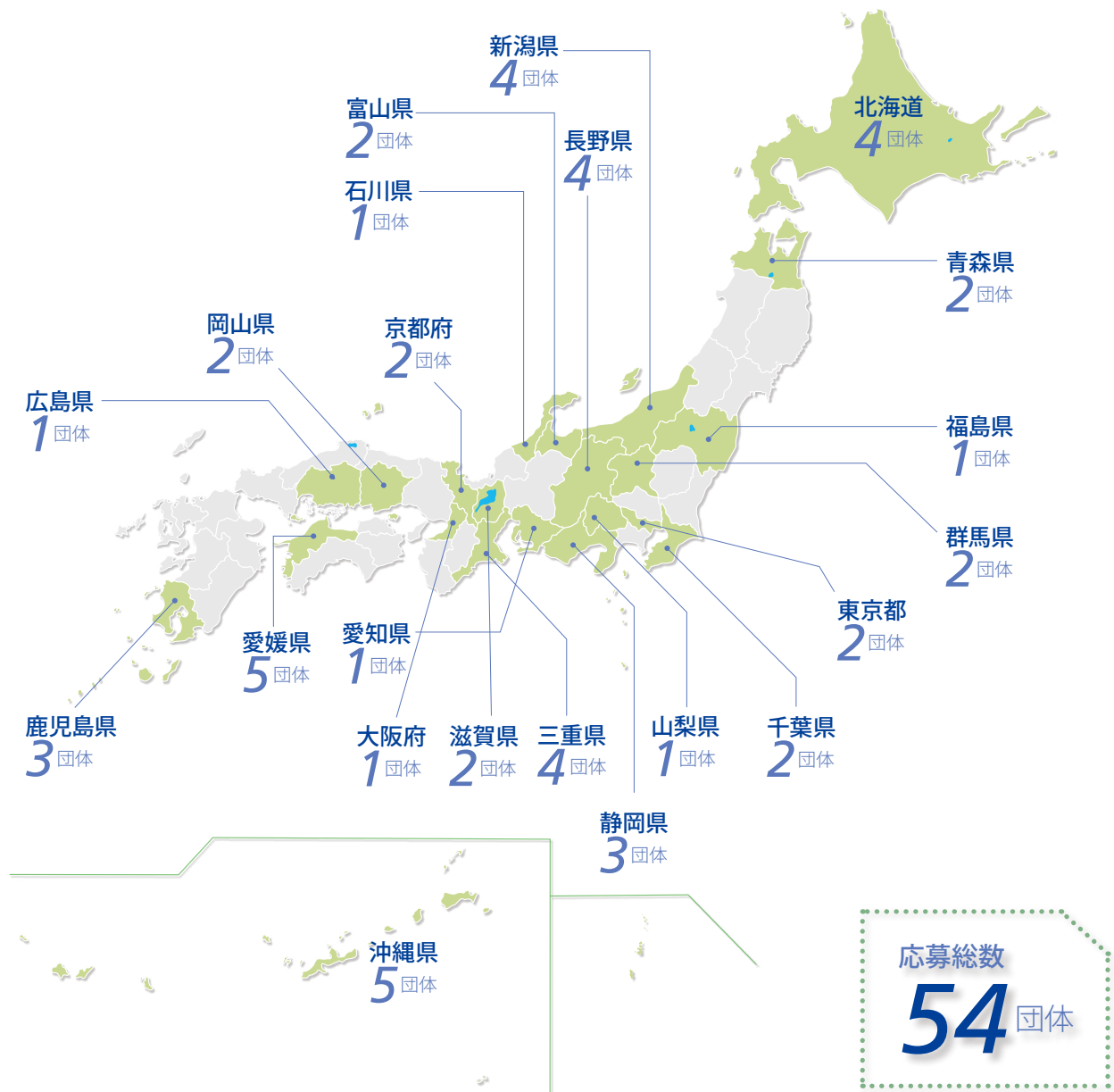
※ 複数回答



設立年



全国応募状況



「第12回エコツーリズム大賞」募集のご案内

募集対象

●エコツーリズムへの優れた取組事例を募集します。

取組の例

- ・ 地域におけるエコツーリズム推進団体の設立と運営
- ・ 保全利用協定やガイドラインなどのルールづくりやその継続
- ・ 農業体験や校外学習などと連携したエコツアーの実践
- ・ 環境への配慮や環境保全への貢献
- ・ エコツアー等の情報提供の取組
- ・ 環境保全や地域振興への観光収益の還元システムづくり
- ・ エコツアーにおけるゴミの削減や環境負荷の低減
- ・ エコツアーのマーケティングや斡旋などを含めたエコツアー事業の運営など



表彰

●エコツーリズム大賞(1点)、エコツーリズム優秀賞と特別賞、特別継続賞、各数点を予定しています。

*受賞者には表彰状と副賞を授与します。

応募資格

1. エコツーリズムに取り組む個人・団体(事業者、企業、地方自治体、地域のグループ等)。
2. 経験年数、法人格の有無、種類は問いません。
3. 自薦、他薦の別を問いません。
4. 過去の優秀賞・特別賞受賞者も応募可能です。

募集時期

2016年夏頃予定。詳細は環境省ホームページでご案内する予定です。
(<http://www.env.go.jp/>)

審査

エコツーリズム大賞審査委員会において各賞を選定し、環境大臣が決定します。
決定後受賞者に通知し、表彰式を行います。



発行日： 2016年3月
発行： 環境省自然環境局国立公園課国立公園利用推進室
〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2
TEL：03-5521-8271 FAX：03-3595-1716
<http://www.env.go.jp/>
制作協力： NPO法人日本エコツーリズム協会 Japan Ecotourism Society (JES)